

都市再生整備計画(第2回変更)

な り た
成田地区

み や ぎ と み や し
宮城県 富谷市

令和7年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	宮城県	市町村名	とみやし 富谷市	地区名	なりたちく 成田地区	面積	160.1	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

目標
大目標:住みたくなるまち日本一の実現 目標1:生涯学習活動拠点の整備による学習機会の充実 目標2:子育て環境のさらなる充実 目標3:新たな地域交流拠点の形成による交流や賑わいの創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含み、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は平成29年8月に「富谷市総合計画」を策定し、将来像として「住みたくなるまち日本一」を掲げ、より多くの人から生活の場として選ばれ続けるまちづくりを推進している。また、「富谷市公共交通グランドデザイン」では新たな基幹公共交通の導入を図ろうとしており、これに基づいて都市構造の再編を図ろうとしている。 都市構造としては、住宅団地として開発された大清水地区、成田地区、明石台地区を「都市拠点」に位置づけ、高度な機能を持つ商業施設や医療施設の立地や公共施設の設置を推進し、市全域や周辺都市から人々が集う富谷市の中心となる拠点を形成する。また、歴史的景観が現存し、市役所や公民館が立地する旧市街地を「地域拠点」に位置づけ、市民や観光客等の人々が集う行政・文化の中心となる地域の拠点を形成する。
まちづくりの経緯及び現況
本市は、宮城県のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境に恵まれているとともに、年平均気温は約11度と過ごしやすい気候条件を有している。一方、仙台市に隣接する地理的優位性により、昭和40年台後半頃から南部の丘陵地を中心に大規模住宅団地開発が行われてきた。大規模団地開発や企業進出を背景に全国上位の自然増及び社会増が続き、平成28年10月に単独で市制施行となった。今後も市南部で大規模な工業団地や住宅団地の開発が予定され、2035年頃まで人口は増加する見通しとなっている。 一方、既に整備された大規模住宅団地では、高齢化が進行しており、本市の老年人口は2050年には2015年の約2倍になると推計されている。このような背景の下、今後は高齢になっても住み続けられる環境づくりが必要となっている。 また、「住みたくなるまち日本一」の実現に向けて、住む魅力の向上が求められており、その一環として市民からは子どもや高齢者をターゲットとした公共施設の整備が求められている。
課題
・今後も高齢者の増加が予測されており、高齢者が住み続けられる環境づくりが必要である。 ・図書館整備に対する住民の期待が高く、市民の生涯学習の拠点となる施設の整備が必要である。 ・市制施行から8年が経過し、「富谷市」としてのシティブランドの確立が求められており、施設の整備やイベントの開催などによる交流人口の増加を図り、賑わいと活力のある地域を形成していくことが期待されている。 ・本市には子どもたちが雨天や冬季にも伸び伸びと遊べる施設がなく、子育て世代の市民から屋内遊戯施設の整備が求められている。 ・都市拠点に位置付けられている「成田地区」において、令和元年度に市街化区域に編入した成田二期東・成田二期西地区の住宅地造成に伴い、今後人口が増加する見込みである。 隣接する成田公民館が指定避難所に位置付けられているが、現状の施設面積では将来的に収容人数の不足が見込まれることから、新たな避難所機能を有する施設の整備が必要となっている。
将来ビジョン(中長期)
【富谷市総合計画】 〈将来像〉住みたくなるまち日本一 ～100年間でひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～ 〈基本方針〉・暮らしを自慢できるまち！ ⇒第1編 第2章 ”とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります ⇒施策内容 2. スイーツステーションの整備検討(最重点プロジェクト) ・教育と子育て環境を誇るまち！ ⇒第2編 第2章 あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります ⇒施策内容 1. 生涯学習活動拠点の整備(最重点プロジェクト) ⇒第2編 第4章 地域で子育てを支えるまちを創ります ⇒施策内容4. 親子で集える場の整備・充実(最重点プロジェクト) ・元氣と温かい心で支えるまち！ ・市民の思いを協働でつくるまち！
【第2次富谷市地方創生総合戦略】 〈基本目標〉・地域の魅力を生かした雇用の場の創出 ・とみやシティブランドの創出・発信による交流人口の拡大 ⇒とみやスイーツ等に代表される「とみやシティブランド」の発信拠点として、スイーツステーションを整備します ・まちの未来を育てる環境の充実 ⇒富谷市民図書館の整備を推進するとともに、児童屋内遊戯施設、スイーツステーションとの複合施設化についても調査、研究を進めます ・すべての世代が安心して暮らすことができる魅力的なまちの創造
【富谷市国土強靱化地域計画】 富谷市国土強靱化地域計画関連事業 (1)行政機能・防災体制等 ・図書館等複合施設整備事業 災害時に一時避難所となる複合施設の整備

都市構造再編集支援事業の計画 ※都市構造再編集支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・都市機能誘導区域については、病院、子育て支援施設等の都市又は地域全体をサービス対象とするような施設の維持・誘導を図る。 ・居住誘導区域については、コンビニやスーパーマーケット、診療所等の日常生活を支える身近な生活利便施設の維持を図る。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 市全域から人々が集う富谷市の中心となる拠点として、高度な機能を保持する教育文化施設等を誘導する。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 －							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公民館図書室貸出者数	人/年	富谷市内の公民館図書室における貸出者数の合計 (事業後は図書館を含む)	目標1に関連する指標とし、蔵書の貸出数が増加することで利用者の範囲や学習密度の充実に繋がる。	18,074人/年	R3年度	63,128人/年	R9年度
子育て環境に関する満足度調査	%	富谷市まちづくりアンケート調査における「子育てがしやすい」満足度	目標2に関連する指標とし、図書館整備及び子育て環境整備(屋内児童遊戯施設整備等)により、利便性の高いまちづくりに繋がりが、子育てしやすい環境の満足度が向上する。	45.4%	R2年度	50.0%	R9年度
複合施設におけるイベント活動への参加者数	人/年	図書館と地域交流センターとの融合を図ったイベント活動の参加者数	目標3に関連する指標とし、複合施設整備による交流や賑わいの効果を地区周辺へ拡大。イベント参加者数が増加することで交流や賑わいを創出する。	0人/年	R3年度	1,000人/年	R9年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【生涯学習活動拠点の整備による学習機会の充実】 「富谷市民図書館等複合施設整備基本方針」に基づき、富谷市での暮らしを豊かにする生涯学習の拠点として富谷市民図書館の整備を推進し、多様なニーズに応じた質の高い生涯学習の機会の提供を目指す。		【基幹事業】（誘導施設 教育文化施設）図書館等複合施設整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 情報板）施設案内看板 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析調査
【子育て環境のさらなる充実】 子育て世代や子どもたちからのニーズが高い、雨天や冬季も子どもたちが伸び伸び遊べる屋内遊戯施設の整備を推進し、子育て環境の充実を図り子育て世代からさらに住みたくなるまちとして選ばれるまちを目指す。		【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）図書館等複合施設整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 情報板）施設案内看板 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析調査
【新たな地域交流拠点の形成による交流や賑わいの創出】 地域・世代を問わない、多様な交流空間として富谷市地域交流センターを整備することにより、地域の魅力を高めるとともに、こどもの遊び場だけでなく子育て世代、高齢者等幅広い世代で活用できるスペースとして整備し交流や賑わいの場を目指す。		【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）図書館等複合施設整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 情報板）施設案内看板 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析調査
その他		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	3,741.1	交付限度額	1,870.5	国費率	0.5
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	情報板	施設案内看板	富谷市	直	6基	R7	R7	R7	R7	6	6	6		6	-
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター	富谷市地域交流センター	富谷市	直	1,312㎡	R2	R7	R5	R7	1,536.0	1,514.8	1,514.8		1,514.8	-
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設	富谷市民図書館	富谷市	直	1,918㎡	R2	R7	R5	R7	2,230.8	2,216.3	2,216.3		2,216.3	1.7
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業 高次都市施設															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
子どもまんなかまちづくり事業															
合計										3,772.8	3,737.1	3,737.1	0.0	3,737.1	1.7

都市再生整備計画全体の
B/Cを算出する場合、記入

…A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用 調査	事業効果分析調査	図書館等複合施設	富谷市	直		R9	R9	R9	R9	4	4	4		4
まちづくり活動推進 事業														
合計										4	4	4	0	4

…B

居住誘導促進事業													
事業	事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負分担 うち民負分担		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
居住誘導促進事業													
合計									0	0	0	0	0
											合計(A+B+C)	3,741.1	

...C

[illegible][illegible]

仙台北部道路

国道4号線

東北自動車道

0 150 300 600 m

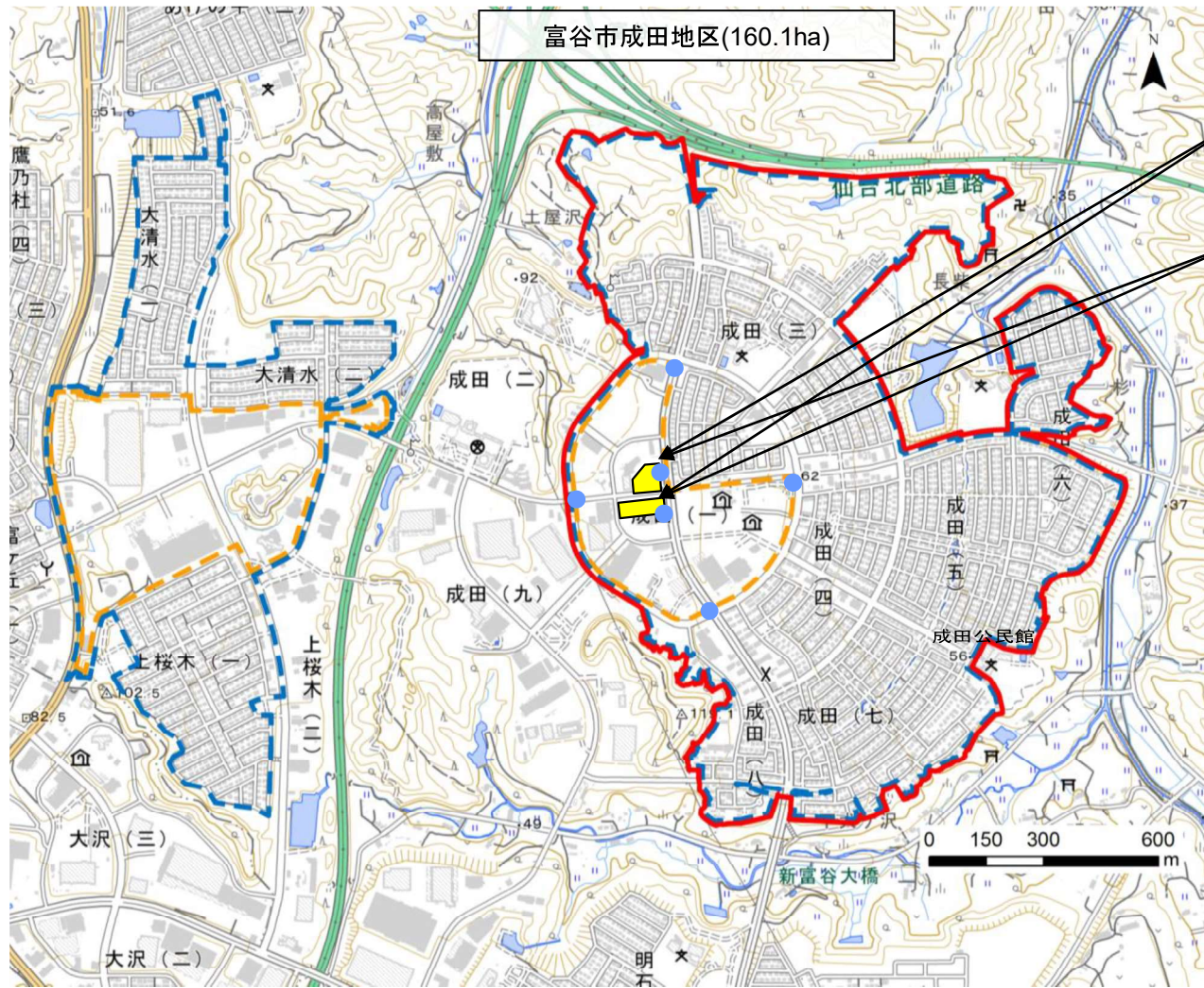
都市再生整備計画の区域

都市機能誘導区域

居住誘導区域

富谷市成田地区(宮城県富谷市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:住みたくなるまち日本一の実現	代表的な指標	公民館図書室貸出者数 (人/年)	18,074 (R3年度)	→	63,128 (R9年度)
	目標1:生涯学習拠点の整備による学習機会の充実		子育て環境に関する満足度調査 (%)	45.4 (R2年度)	→	50 (R9年度)
	目標2:子育て環境のさらなる充実		複合施設におけるイベント活動への参加者数 (人/年)	0 (R3年度)	→	1,000 (R9年度)
	目標3:新たな地域交流拠点の形成による交流や賑わいの創出					



- 基幹事業(高次都市施設:地域交流センター)
図書館等複合施設整備事業
- 基幹事業(誘導施設)
図書館等複合施設整備事業
- 基幹事業(地域生活基盤施設:情報板)
●施設案内看板整備事業
- 提案事業(事業活用調査)
事業効果分析調査

凡 例	
	都市再生整備計画の区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域
	基幹事業
	提案事業
	関連事業